

いぎいき美浦に人咲く 夢咲く 福祉咲く



美浦村

2011.7.6

Vol.

50

しゃまようだより

美浦村で

「わなげ」が大人気！！

主 な 内 容

- ・ 美浦村で「わなげ」が大人気！！～輪投げを通じた地域交流活動～
- ・ 今、私たちにできること② ・ 東日本大震災義援金について
- ・ 平成 22 年度事業報告及び決算報告
- ・ 介護事業所かわら版
- ・ 平成 23 年度家族介護者教室のお知らせ
- ・ ボランティアの(わ)
- ・ 大切にします！あなたの善意 ・ 各種お知らせ



「わなげ」という言葉から、**昔の遊び、縁日、おもちゃ…何となく「子ども」のイメージが強くないだろうか？**
 しかし、**美浦村においては、断トツで人気のある「高齢者スポーツ」なのである。**

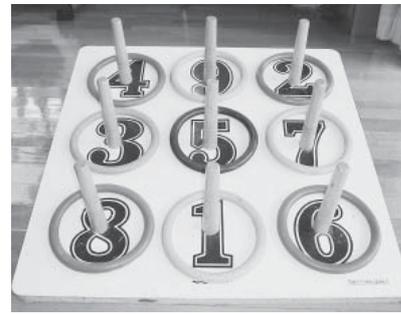
美浦村老人クラブ内には8つの趣味クラブがあり、全377名の会員が活動しているが、そのなかで会員数213名と、圧倒的な人数を誇るのが、輪投げクラブである。なぜ、これだけの人気があるのだろうか？ちよつと気になる。

村内の老連趣味クラブ一覧

クラブ名	会員数	内訳	
		男性	女性
輪投げ	213	47	166
歴史	41	12	29
盆栽	32	22	10
写真	26	23	3
カラオケ	24	6	18
ゲートボール	21	9	12
俳句	15	2	13
書道	5	1	4
合計	377	122	255

村内に19の地域支部を持ち、各地区で、毎週のように公民館等で練習をしている。年に4回の定期大会の他に、県大会の代表決定戦があり、美浦村代表はそこでも好成績を残している。

競技のルールはシンプルだ。4m先の60cm四方の板に立っている9本の的棒めがけ、直径約17cmの輪を9回投げる。的棒の下には、それぞれ1〜9の数字がついており、輪が入れば、その



棒の下の数字が得点になる

数字の分だけ得点になる。最高45点をとるには、一投のミスも許されない。

実際に体験してみた。「こどもの遊びの延長」と、甘くみていたが、4mの距離は想像以上に遠く、棒はおろか、枠にさえ輪が飛ばない。力加減と投げる角度、輪を離すタイミングが重要である。「今度こそは」と、いつのまにか夢中にさせる中毒性がある。

個人の技量を磨くストイックなゲームであるが、大会の雰囲気は明るい。

6月4日、親・子・孫世代でチームを組んで競う「三世代輪投げ大会」が主催で行われた。会場の木原農トレに32チーム128人が集合。高得点には拍手と歓声、0点の人には励ましの声が周囲から起こる。時には高得点者に対し、

気の理由をこう語った。

「高齢者はちよつとの遠出さえ大変。その点、輪投げは近所の公民館に行けば出来るというのは大きい」

「終わった後にみんなでお茶を飲む。お茶菓子をつまみながら、笑顔で語り合うことで、自然と交流が深まる」

女性会員が8割を占めるのもうなずける。

「大会で好成績を出すには、努力と集中力」

なるほど。やはり日々の練習と、本番でその実力を発揮する精神力が大切なようだ。（上の成績表、老連の成績が突出しているのにお気づきだろうか？実は、老連の5位入賞者の得点は53点であり、そのレベルの高さに驚かされる）

すでに、輪投げは老人クラブ活動だけではなく、各企業や団体のイベント・行事として行われている。前述の三世代輪投げ大会も恒例の社協行事で、毎年大勢の参加者を集め盛況である。

社協では、この輪投げを、世代間・ご近所同士を繋げる道具として注目している。地域の公民館に行けば、誰かが輪投げを楽しんでいる。輪投げを通じて顔見知りになり、老若男女が仲よくなれる。毎日のくらしが、少しのしくなる。そんな思いを描きながら、これからは輪投げ活動を応援していきたい。

三世代ふれあい輪投げ大会成績表
 (1チーム4名×2セットの合計)

開催日：平成23年6月4日(土)

団体の部

順位	チーム名	得点
優勝	布佐B	152
準優勝	浜 B	142
3位	浜 A	141

個人の部 優勝者

世代	氏名	得点
児童	野口 美希	44
保護者	玉井 康裕	37
老連	玉井 幸子	64



大会は和やかな雰囲気

「手軽で、どこでも出来るのが輪投げの良さ」

クラブ会長の石神恒雄氏は、輪投げ人



いま 私たちに
できること②

震災支援ボランティアだより

3月末より光と風の丘公園ロッジハウスで生活をしている28名の被災者の方々に
対し、生活支援や、無償マッサージを行いました。



プロの鍼灸師によるマッサージ

また、稲敷市で支援物資の配送をしている
民間ボランティアへの協力を行いました。



桜川体育館にて支援物資の仕分け活動

現在も、登録ボランティアの方々が、
自分たちのできる範囲で支援活動を続
けています。

被災地でのボランティア活動報告

ボランティアバスツアーに参加して

4月30日早朝4時半、日帰りバスツアーで水戸を出発。10時過ぎに宮城県東松島に到着。道路の向こうは津波に流され何も残ってなく、一般人の立ち入りは禁止区域です。ボランティアセンターの近くには住宅街があり、道路に泥の山、水に浸った家財が山積み状態の中で人々が生活しています。私達は10人ずつに分かれ、戸別に作業をしました。家の中の1階部分は、押し入れの上段部分まで泥が入り、悪臭もします。水を含んだふとんは重くて、男性が3、4人ばかりでようやく持ち出せました。部屋の荷物を全て庭に運び出し、畳を上げた床の泥をスコップで掻き出し、水を流しながらデッキブラシでこする作業を3部屋、1軒の掃除をするのが一杯でした。バスの移動に往復12時間、実動3時間のボランティアツアーでしたが、やはり行ってよかったですと思います。募集があればまた参加したいと思っています。場所や時期によって作業内容は変わりますが、被災者が望んでいる事と、私達に出来る事。それをマッチさせるボランティアコーディネーターの重要性を実感しました。

ボランティア 沼田 香代子

小口 伸子

東日本大震災義援金のご報告

多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。
6月14日現在の義援金額は、4,431,024円です。

義援金をいただいた方々

ぐるーぶ陶遊 美浦老連盆栽クラブ一同 美浦老連写真クラブ一同 競駿労働組合 競駿労福社会
地域サポートクラブふきのとう 花見塚互助会 細谷建設工業(株)美浦営業所従業員一同 美浦体操クラブ
とみた家 セレモニー博善(株) タカス商会 そうざい屋かわぎし ヘアーチェンジモデスト 安藤自動車
Body Shop I・M・A 栗山工業(株) (株)増尾電気設備 (株)鈴木商店
(株)鈴生ハウジング 商工会議所 美浦チャリティー
ゴルフ参加者一同 三世代輪投げ大会参加者一同
土屋カラオケ愛好会 安中小学校児童・教職員一同
美浦村文化協会東日本大震災復興支援チャリティー
発表会 美浦村シルバーリハビリ体操指導士会
山崎社中 美浦吟詠会 正調俚謡日和吟社
美浦俳句連盟 10名の個人の皆様
村内18カ所の募金箱に義援金をいただいた皆様
期間：4月18日～6月14日(順不同 敬称略)



6月1日、安中小児童・教職員一同様より



平成22年度社会福祉協議会事業報告

◆地域の福祉力向上

○地域ケアシステム推進事業

地域で支援を必要としている在宅の高齢者や障害者などにケアチームを編成し、保健・医療・福祉機関との総合的な調整を行うことで必要なサービスが提供されるよう支援しました。

○福祉教育

子どもたちが地域福祉の心を育くむことを目的として、安中小学校区をモデルとした福祉教育事業を学校や保護者・地域住民の協力を得ながら行い、車いす講座や高齢者疑似体験、お手玉づくりやわら細工作りなどを行いました。



安中小体育館での車いす教室

○福祉交流活動

親・子・孫が輪投げを通してお互いに交流することを目的とした「三世代ふれあい輪投げ大会」、レクリエーションを通して保育所児と高齢者のふれあいを深めることを目的とした「ふれあい交流会」、メンコやお手玉などの昔の遊びを通じて高齢者と児童との交流を目的とした「昔ながらの遊び交流会」を実施しました。



木原農トレで三世代輪投げ大会

○社会参加推進

住民が地域社会に参加し、仲間を作ることでいきいきとした人生を送ることを目的としたサロン活動を支援することで、介護予防や閉じこもりの防止を行いました。

○その他の関連事業

・地域福祉団体の支援

◆児童・高齢者・障害者福祉

○高齢者祝賀

永年にわたり社会に貢献された高齢者の長寿等を祝福することで、福祉の増進を図ることを目的として、敬老会（村と共催）、村内最高齢者祝、喜寿祝、金婚祝を実施しました。

○シルリハ体操指導士会運営支援

村内における高齢者の介護予防推進を目的としたシルバリーハビリ体操指導士会の事務局として、活動を支援しました。

○歳末たすけあい支援

支援を必要とされる方々が温かな年末年始を迎えることを目的として、商工会発行のクーポン券やシルバー人材センター利用券の贈呈を行いました。

○サンタ訪問・餅つき体験

支援を必要とされる母子・父子・障害者世帯に対し、サンタクロースがお宅を訪問し、お菓子をプレゼントしました。また、大谷児童館で餅つき大会を開催し、餅つき体験を行いました。

○危険箇所看板の贈呈

児童向けの交通安全・危険周知看板を村

立3小学校に贈呈しました。

○小学校入学祝品の贈呈

表面は障害者マーク、裏面は各校歌をデザインした下敷きを、村内小学校及び県立養護学校初等部に入学する児童に贈呈しました。



福祉下敷きを1年生に

○地域活動支援センター

就労が困難な障害者が、地域社会で自立ができることを目的として、内職や生活訓練を中心とした通所事業を実施しています。

○配食サービス

独居高齢者の健康増進と安否確認を目的として、民生委員やボランティア、福祉団体等のご協力を得て、月2回（年24回）夕食の弁当を配達しました。

○福祉用具・車両貸出

高齢者や障害者等の生活の質が向上することを狙いとして、車イスおよび、車イスが乗れる福祉車両を貸し出しています。



○日常生活自立支援事業

認知症の高齢者、知的・精神障害者等で判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や、日常の金銭管理等を行いました。

◆ボランティアの育成・活動支援

○ボランティア活動基盤づくり

ボランティアをしたい人と頼みたい人を上手に結びつけるため、3月よりボランティアセンターを立ち上げ、地域のボランティア活動の支援・育成を行っています。また、ボランティア連絡協議会の事務局を担当しています。

◆子育て支援

○いきいき子育て支援金

子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを支援することで地域の活力が生まれるよう、村内在住で第3子以上を養育する家庭に対し、対象児が1〜3歳の間、支援金を支給しています。

○母子家庭支援

小学校・中学校に入学するひとり親家庭へ入学祝金を贈呈することで、経済的負担を軽減し、児童・生徒の健全な育成を図ることを目的とした事業を行っています。

- ※関連事業
- ・交通遺児援護

◆心配ごと・法律相談

村民の悩み事・心配ごとを解決することを目的に、心配ごと相談を週1回、弁護士による法律相談を年11回開催しています。

◆善意銀行・やまゆり基金運営

善意を持って寄せられた金品を受け付けています。村内の商店・施設に依頼して、募金箱を18ヶ所に設置しています。

◆低所得者等福祉対策

低所得世帯や高齢者、障害者の自立・生活の安定を目的として、民生委員等の関係機関・団体の協力のもとに資金の貸付を行っています。

◆見舞金支給

住宅が半壊・半焼以上の被害を受けた世帯を対象に、善意銀行からお見舞金を支給しています。

◆介護保険事業

○通所介護

美浦村デイサービスセンターにおいて、送迎を行い、食事や入浴、排泄の介助、機能訓練（リハビリや口腔ケア）、レクリエーションなどのサービスを行います。その他、毎月の誕生会や季節のイベントなども開催いたしています。

○訪問介護

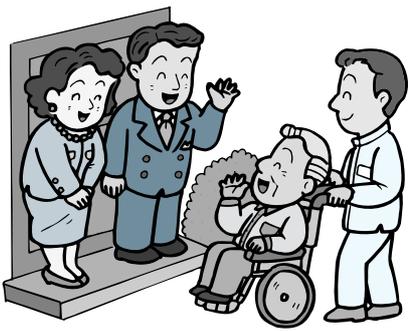
ご自宅へホームヘルパーを派遣して、家事援助や身体介護を提供しています。



通所介護事業 夏祭りの一コマ

○居宅介護支援

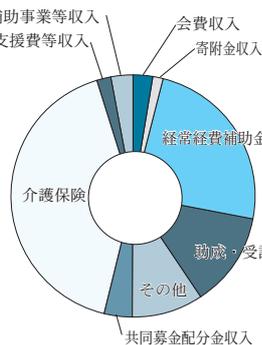
介護保険サービスを利用される方の「介護サービス計画」の作成、相談、連絡調整を行っています。



平成 22 年度決算報告

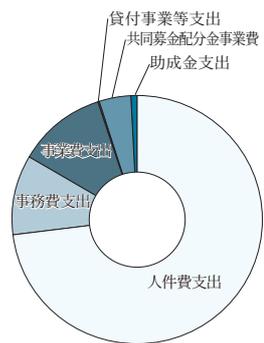
収入の部

	金額(円)
会費収入	3,381,300
寄附金収入	1,782,479
経常経費補助金収入	31,331,297
助成・受託金	16,422,796
その他	12,304,531
共同募金配分金収入	4,830,932
介護保険	53,884,681
自立支援費等収入	2,442,673
補助事業等収入	3,814,408
財務活動による収入	6,744,611
前期末支払資金残高	43,850,178
経常収入計	180,789,886



支出の部

	金額(円)
人件費支出	91,232,823
事務費支出	12,962,950
事業費支出	14,324,670
貸付事業等支出	228,000
共同募金配分金事業費	5,126,603
助成金支出	1,024,000
財務活動による支出	4,880,587
当期末支払資金残高	51,010,253
経常支出計	180,789,886





介護事業所
かわら版
Vol.5

ゴーヤでグリーンカーテン作り！

皆さん、グリーンカーテンをご存じでしょうか。窓全体に張り巡らせたネットに、アサガオやヘチマ、ゴーヤなどのツル植物を絡ませて窓を覆うものです。窓からの日差しを遮り、室内温度の上昇を抑制するとともに、植物の葉からの水蒸気によって周囲を冷やすことが期待できるといった、省エネに有効だと言われています。

今年はデイサービスでゴーヤを使ってグリーンカーテンを作成いたしました。これから夏に向けてどんどん成長し、ご利用者が快適に過ごしていただければと思います。



ご利用者の方に苗を植えていただきました。



夏に向けて着々と成長しています。

家族介護教室のご案内

日ごろ、高齢者を介護されている方や介護に関心をお持ちの方々を対象に、介護者が安心して介護を行えるよう、介護技術の知識やさまざまなサービスの案内、介護者の健康管理の方法などをお知らせする教室です。

- ◆日時 ①平成23年9月10日(土) ②10月15日(土) ③11月19日(土)
- ◆時間 午後1時～3時
- ◆場所 ① ②：美浦村デイサービスセンター ホール
③：美浦村中央公民館 調理室
- ◆対象 美浦村在住の高齢者を介護している家族、援護者、および介護の勉強をしたい方
- ◆内容 ①「介護の基本動作及び介護者の腰痛予防」
講師：理学療法士 円城寺 政俊
②「摂食、嚥下について～おいしく食事をしよう～」
講師：歯科衛生士 増尾 香代子
③「低栄養について～食べやすい食事を作ってみよう～」
講師：栄養士 福岡 康子

◆参加費 無料 ※③のみ食事材料代として300円を徴収いたします。

◆定員 30名(先着順及び定員で締切)

◆申し込み方法 電話で下記の連絡先へ 9月9日(金) 17:00までにお申し込み下さい。

◆お問い合わせ

◎美浦村社会福祉協議会 美浦村デイサービスセンター

電話 885-8885 担当：山本・田口

美浦ボランティアのわ!

美浦村のボランティアを紹介するコーナー

村シルバーリハビリ体操指導士会が 顕彰を受けました

高齢者の介護予防を目的とした「シルバーリハビリ体操」を普及するため、美浦村シルバーリハビリ体操指導士会（代表：矢原はつひ氏）が結成されたのが4年前の平成19年9月。村内のサロンや老人クラブ等を訪問し、昨年度は78回の体操指導を行うなど、熱心に活動を行ってきました。その功績が認められ、6月2日、稲敷ロータリークラブ様から顕彰状の贈呈を受けました。同会の今後の更なるご活躍に期待しております。



笑顔の「おかえり」にホッ!



左近時次郎さん(79)が、興津地区で小学生の下校見守りを始めたきっかけは、近所に不審者が出没した事件でした。「大人が立っていることで、児童が安心して下校できれば」という思いで通学路に立ったあの日から7年間、雨の日も風の日も「おかえり」と声をかけながら、現在も見守りを続けています。今では児童とも仲良しになり、むこうから「ただいま」と元気に声をかけてくるほど。児童の安全だけでなく、あいさつを通じた心の教育でも地域福祉に貢献されています。

ボラ連協主催『ふれあいの会』を開催しました

6月16日、震災のため3月から延期されていたふれあいの会が、大勢の参加者(91名)をお迎えして行われました。

オープニングは障害者支援施設「虹の里」と美浦村地域活動支援センター「ホープ」によるよっちょれで始まり、次に美浦フラダンス同好会によるフラダンス披露で、元気に楽しい雰囲気会場を包みました。カラオケでは、ふれあいの会に参加されたのど自慢達が次々と得意の歌を披露してくれました。食事会では、お弁当と美浦村ボランティア連絡協議会が調理した美味しいけんちん汁に、参加された方々の笑顔があふれていました。会も終了し、「元気にになりました。」と帰っていく参加者をお送りしながら、「やってよかった。次は何をして楽しんでいただこう。」と思いました。送迎をして下さった地区の民生委員の皆様、ありがとうございました。(美浦村ボランティア連絡協議会会長 市川 昭子)



